

《担当者名》○藏満保宏 幸村 近

【概要】

本科目は、臨床検査および臨床検査の関連研究を行うために、病態を学んでよく理解することを目的としています。そのために、病態における生理（病態生理学）と病態における分子の動態（病態生化学）を基礎から学び、さらにそのための研究・実験の行い方を学び、病態解析に役立てることができることを最終目標としています。

【学修目標】

- 1) 各病態を理解して、研究との繋がりを理解する。
- 2) 研究の方策も学習し、自分で研究を組み立てられる方法を身につける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	代謝疾患病態の分子動態講義	授業内容：代謝疾患（糖尿病、高脂血症、メタボリックシンドローム）における分子動態の講義 学修課題：レポート	藏満保宏
2	代謝疾患病態の分子動態研究の紹介と討議	授業内容：代謝疾患（糖尿病、高脂血症、メタボリックシンドローム）関連研究英語論文の抄読会 学修課題：抄読会の担当	藏満保宏
3	腎・水電解質代謝疾患の病態生理学の講義	授業内容：腎・水電解質代謝疾患の病態生理学の講義 学修課題：レポート	幸村 近
4	腎・水電解質代謝疾患の病態生理学研究の紹介と討議	授業内容：腎・水電解質代謝疾患関連研究英語論文の抄読会 学修課題：抄読会の担当	幸村 近
5	炎症・感染症病態の分子動態講義	授業内容：炎症・感染症における分子動態の講義 学修課題：レポート	藏満保宏
6	炎症・感染症病態の分子動態研究の紹介と討議	授業内容：炎症・感染症関連研究英語論文の抄読会 学修課題：抄読会の担当	藏満保宏
7	呼吸器疾患の病態生理学の講義	授業内容：呼吸器疾患の病態生理学の講義 学修課題：レポート	幸村 近
8	呼吸器疾患の病態生理学研究の紹介と討議	授業内容：呼吸器疾患関連研究英語論文の抄読会 学修課題：抄読会の担当	幸村 近
9	癌病態の分子動態講義	授業内容：癌病態における分子動態の講義 学修課題：レポート	藏満保宏
10	癌病態の分子動態研究の紹介と討議	授業内容：癌関連研究英語論文の抄読会 学修課題：抄読会の担当	藏満保宏
11	神経・筋疾患の病態生理学の講義研究の紹介と討議	授業内容：神経・筋疾患の病態生理学の講義ならびに神経・筋疾患関連研究英語論文の紹介 学修課題：レポート	幸村 近
12	免疫の分子動態講義	授業内容：免疫の分子動態の講義 学修課題：レポート	藏満保宏

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
13	免疫研究の紹介と討議	授業内容：免疫関連研究英語論文の抄読会 学修課題：抄読会の担当	藏満保宏
14	循環器疾患の病態生理学の講義	授業内容：循環器疾患の病態生理学の講義 学修課題：レポート	幸村 近
15	循環器疾患の病態生理学研究の紹介と討議	授業内容：循環器疾患関連研究英語論文の抄読会 学修課題：抄読会の担当	幸村 近

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- 1) レポートを評価 (50%)
- 2) 抄読会担当の発表内容を評価 (50%)

【評価基準】

人体の病態と生化学・分子生物学の基礎を理解し、将来的に臨床検査で取り入れることが予想される先端的検査方法について説明できる者に対して単位を付与し、学修目標に記載する能力の達成度に応じて、優（80点以上）、良（70点以上）、可（60点以上）の評価を与える。

【備考】

教科書は特に指定しない。

重要な論文を頻回に印刷して配布する。配布された論文は熟読してノートにまとめ、それを自分だけの教科書としてほしい。

【学修の準備】

抄読会担当に備えて各トピックの英語原著論文を選択して読解理解しておく（予想される所要時間：2時間）

抄読会発表はPPTによるプレゼンテーション

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP1）幅広い学識、高い倫理観を備えた医療人として、多様な背景を持った人々と共感し、円滑なコミュニケーションを取る能力を身につけていること。